

「確かな学力」育成プロジェクトとの連携を図りながら、同じ地域に生活する児童・生徒に対する系統的な教育の在り方を考える。

I 主題設定の理由

「地域の子どもは、地域で教育する」という基本理念のもと、同地域の子どもの育成に携わる教職員が、地域との連携の強化を図りながら、児童生徒の実態について深く理解し、小中の系統的な教育の在り方を研究するために、本主題を設定した。また、今年度は、甲州市の「確かな学力」育成プロジェクトとの連携を図りながら、研修を深めていきたいと考えた。

II 研究の内容

1 第1回ブロック研究会

(1) 日時 8月6日(月) PM13:30～

(2) 目的 地域の人材や施設、史跡を生かした臨地研修を実施し、小中教職員が連携しながら、地域に生きる子ども達の教育に活用する。

(3) 内容・コース

ア 県立ワインセンターと大善寺見学コース

- ・県立ワインセンターの見学とワインについての説明
- ・大善寺の見学と講話

イ 葡萄工房ワイングラス館と休息山休息山立正寺見学コース

- ・「葡萄工房ワイングラス館」でのワイングラスの加工体験
- ・休息山立正寺見学と講話

ウ 勝沼ぶどう郷駅周辺見学コース

- ・大滝不動尊奥不動散策
- ・大日影トンネルワインカーブの見学及び説明

エ 宮光園・メルシャンワイン見学コース

- ・宮光園の見学及び講話
- ・メルシャンワイン見学及び説明

2 第2回ブロック研究会

(1) 日時 11月14日(水) 14:05～

(2) 目的 中学校の授業を参観し、情報交換及び懇談をとおして小中の連携を強化し今後の教育活動に生かしていく。

(3) 内容 中学校の授業参観

ア 授業提供 勝沼中学校全学級

イ 分科会

甲州市「確かな学力」育成プロジェクトの三つの柱と関連して

・「授業作り，授業改善部会」

・「学級作り，集団作り部会」

・「保護者，地域住民との部会」

○プロジェクトに関わる各校の取り組みについて

○中学校児童の生活・学習の様子について

○授業を参観しての感想，質問や意見

○小学校の指導，中学校の指導等の情報交換

3 第3回ブロック研究会

(1) 日時 1月23日(水) PM15:00～

(2) 目的 小中学校に関わる今日的な問題についての講演会を実施し，研究を深めるとともに，今後の指導の参考にする。

(3) 内容 講演会

講演題目 「学校と保護者・地域との連携」の望ましいあり方について

講師 山梨県教育委員会社会教育課 課長補佐 相河竜治先生

III 成果と課題

- ・第1回の臨地研修では，地域を巡ることで，新たな発見もでき，ワイナリーを中心とした産業や，名所について知ることができた。
- ・「中学校から小学校へ」また「小学校から中学校へ」とそれぞれで指導しておくことよいことを率直に伝え合い，地域子どもをともに育て，見守っていくことは大切なので，このような機会をこれからも継続していく必要がある。
- ・勝沼中学校の授業公開では，子どもたちの成長した様子を見せられることができた。また，その後の研究会では，「確かな学力」育成プロジェクトとの関連を図り，話し合いを深めることができた。
- ・講演会では，地域との連携という視点から，「学校応援団」の活用について，詳しく知ることができた。中学校の場合は専門性があるのでなかなか難しい面があるが，生徒の多様化が進んでいる現在，積極的に取り入れていくことであると思われる。
- ・「確かな学力」育成プロジェクトとの関わりを図ることができ，例年以上に研修が深まった。

(ブロック長 依田 久幸)